

上尾市国民健康保険 第3期保健事業実施計画 (データヘルス計画) ・ 第4期特定健康診査等実施計画



平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する」とされました。

そのため、本市では、平成29年1月に第1期保健事業実施計画（データヘルス計画）を策定、平成30年3月には第2期保健事業実施計画を策定し、その評価、見直しを行いながら保健事業を進めてきました。

この度、第2期保健事業実施計画の見直しを行うとともに、国保被保険者の健康の保持増進のみでなく、後期高齢者医療被保険者の健康づくりも見据えた計画の策定を行います。

本計画の計画期間は、令和6年度から令和11年度です。

令和6年3月
上尾市



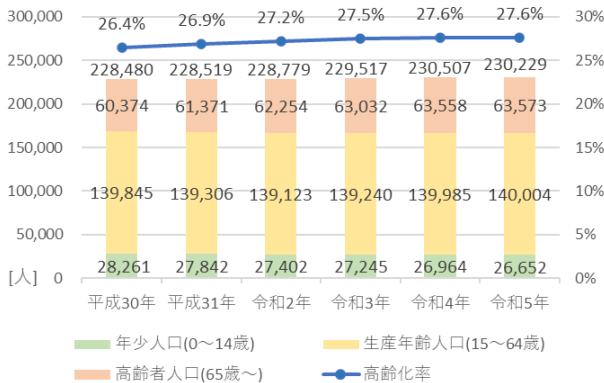
上尾市国民健康保険加入者の現状と課題

1. 人口と国保加入者の現状について

総人口に大きな変化はありませんが、高齢化率は緩やかに上昇しています。

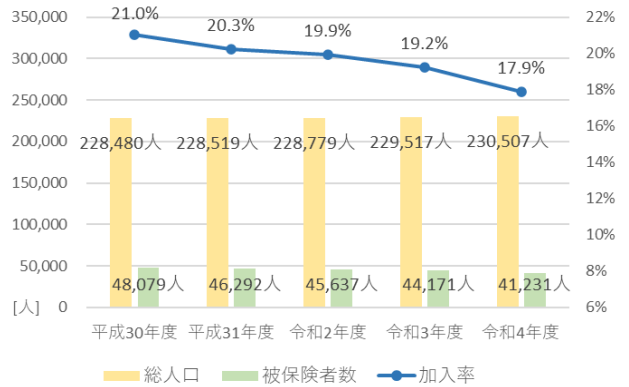
国民健康保険の被保険者数・加入率は年々減少傾向にあります。

[図表1] 総人口及び年齢別人口の推移



出典：埼玉県 彩の国情報館「埼玉県町(丁)字別人口調査」

[図表2] 国民健康保険被保険者数の推移



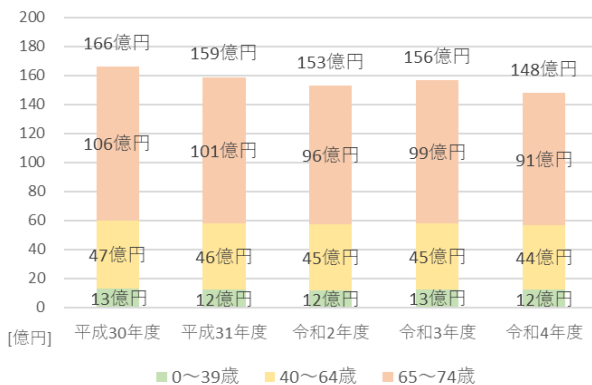
出典：保険年金課

2. 医療費の状況について

年間医療費は、緩やかな減少傾向にあります。年代別では、65~74歳の医療費の割合が高くなっています。

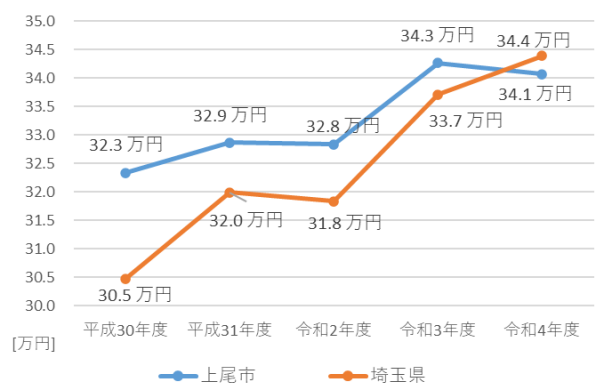
1人当たりの年間医療費は増加傾向にあります。令和4年度は前年度より若干下がり、埼玉県の平均と比べても低くなっています。

[図表3] 年間総医療費の推移



出典：KDBシステム帳票「医療費分析の経年比較」

[図表4] 1人当たり年間医療費の推移

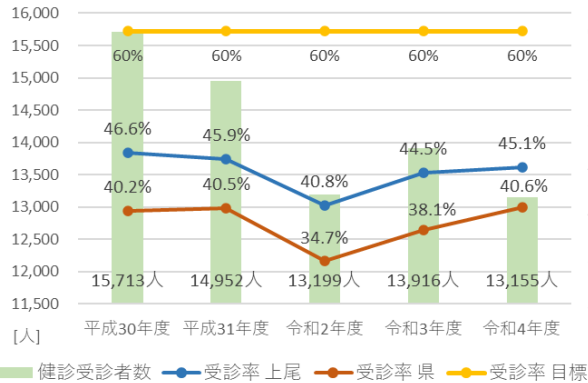


出典：KDBシステム帳票「健診・医療・介護データから見る地域の健康課題」

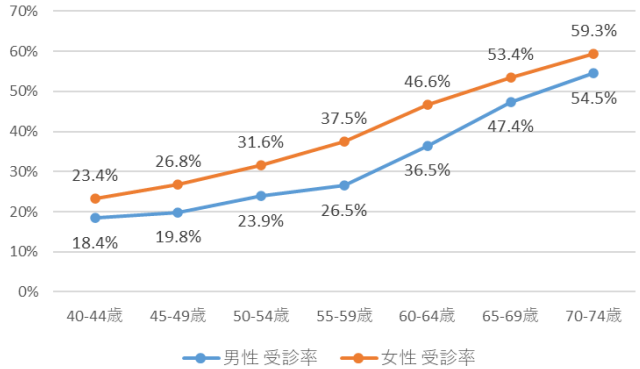
3. 特定健康診査事業

特定健康診査とは、生活習慣病の予防のために、40歳から74歳の国保加入者の方にメタボリックシンドロームに着目した健診です。

〔図表5〕 特定健康診査受診率の推移



〔図表6〕 令和4年度 年齢階級別 特定健康診査受診率



出典：法定報告 およびKDBシステム帳票「地域の全体像の把握」

出典：法定報告（令和4年度）

課題

- ・ 受診率が国の目標値を下回っている（図表5）
- ・ 40代・50代の受診率が低い（図表6）

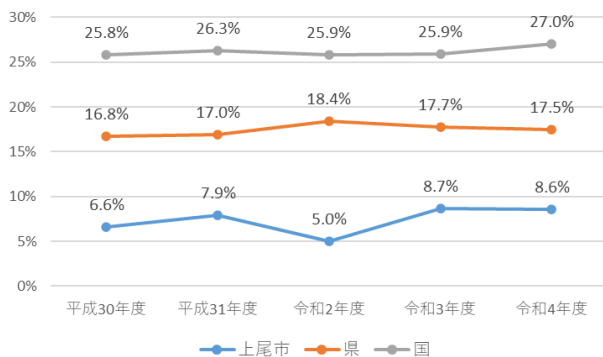
対策

- ・ 未受診者への受診勧奨と、生活習慣病を予防するための情報提供を行う
- ・ ポイント等を活用した受診啓発の取り組みを行う

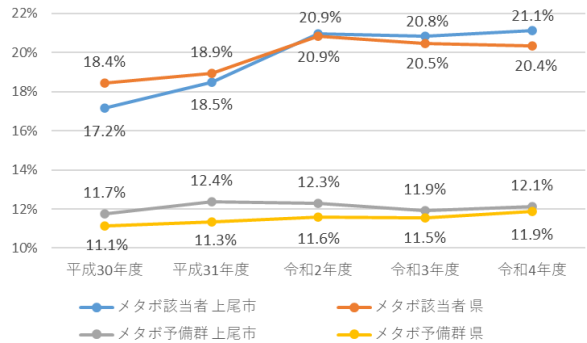
4. 特定保健指導事業

特定保健指導とは、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善によって予防が期待できる方に対して、専門スタッフが生活習慣を見直すサポートをする事業です。

〔図表7〕 特定保健指導実施率の推移



〔図表8〕 メタボ該当者割合の推移



出典：法定報告および KDB システム帳票「地域の全体像の把握」

出典：法定報告（平成30年度～令和4年度）

課題

- ・ 特定保健指導の実施率が県や国の平均よりも低い（図表7）
- ・ メタボおよび予備群の該当者割合が、県の平均と比べて高い（図表8）

対策

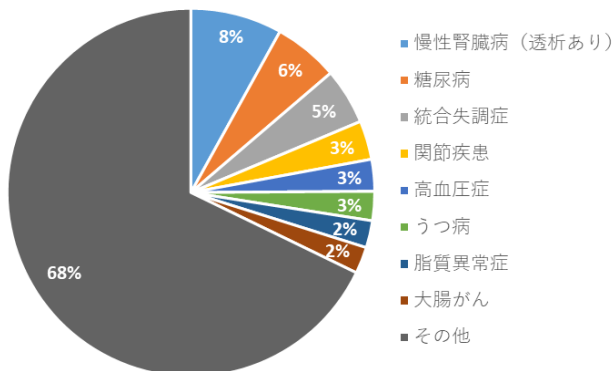
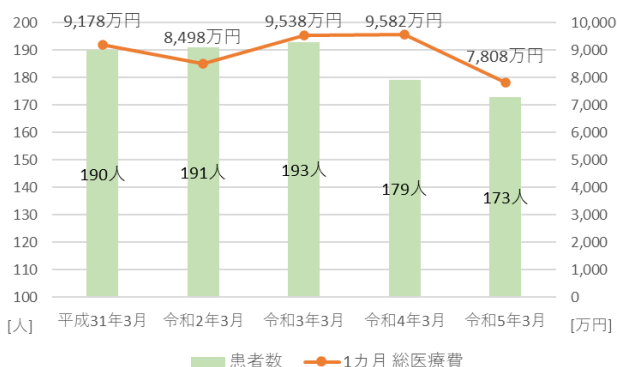
- ・ 対象者への利用勧奨を強化することで、利用率を上げる
- ・ ICTを活用した保健指導を推進し、利用しやすい環境整備に取り組む

5. 糖尿病性腎症重症化予防対策事業

埼玉県と埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業で、糖尿病が重症化するリスクの高い医療機関未受診者/受診中断者に対し受診勧奨を行い、重症化リスクの高い糖尿病性腎臓病患者に対しては人工透析への移行を防止するため保健指導を行います。

[図表9] 人工透析患者数・1カ月医療費

[図表10] 令和4年度 40～69歳 疾病項目別医療費



出典：KDBシステム帳票
「厚労省様式」→「人工透析患者合計」

出典：KDBシステム帳票
「医療費分析」→「疾病分析」

課題

人工透析ありの慢性腎臓病は、40～69歳において医療費が最も高くなっている (図表10)

対策

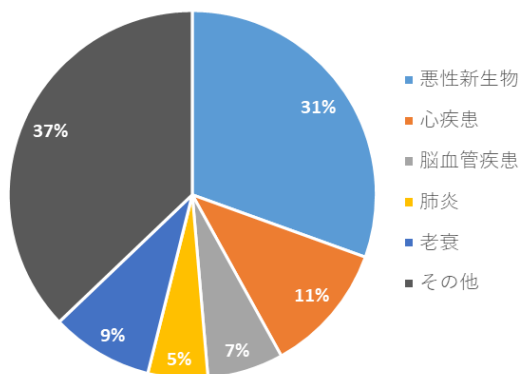
引き続き、医療機関未受診者/受診中断者に対する受診勧奨、および重症化リスクの高い糖尿病性腎臓病患者に対する保健指導を行う

6. 生活習慣病重症化予防対策事業

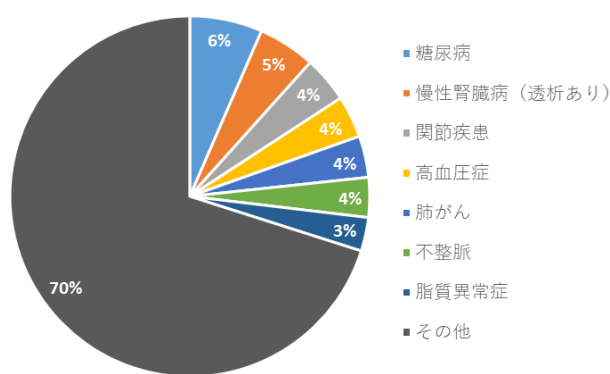
生活習慣病の重症化を予防することを目的とした各種対策事業を行います。

[図表11] 令和3年 死因別 死亡者割合

[図表12] 令和4年度 60～74歳 疾病項目別医療費



出典：埼玉県 彩の国情報館
「保険統計年報」



出典：KDBシステム帳票
「医療費分析」→「疾病分析」

課題

- ・悪性新生物 (がん) による死亡者の割合が一番高い (図表11)
- ・60歳以上になると糖尿病/高血圧などの生活習慣病にかかる医療費の割合が高くなる (図表12)

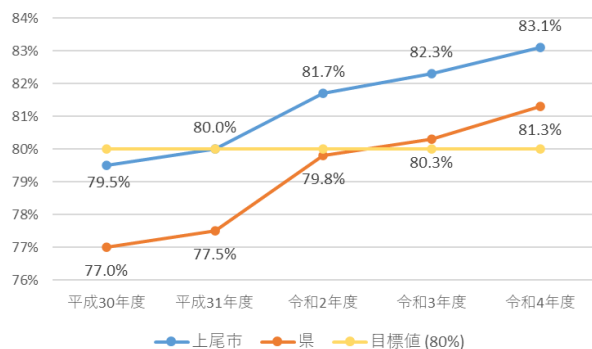
対策

- ・がん検(健)診や人間ドックの受診を促し、自己負担額を補助する
- ・ポイント等を活用した健康づくり推進の取り組みを行う

7. 医療費適正化

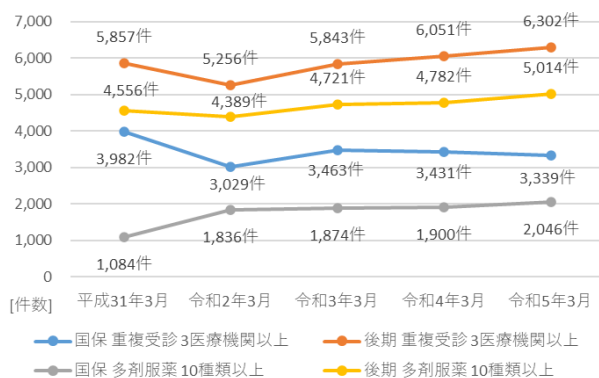
医療費の適正化を目的とした各種取り組みを行います。

[図表13] ジェネリック医薬品 利用割合



出典：保険年金課

[図表14] 多剤服薬・重複受診件数の推移



出典：KDBシステム帳票「重複・多剤、重複・頻回」

課題

多剤服薬件数および重複受診件数が多く、後期高齢者では増加傾向にある(図表14)

対策

- ・ジェネリック医薬品使用促進の為の取り組みを行う
- ・適正受診・適正服薬啓発を行う

8. 地域包括ケアに関する取り組み

誰もが安心して暮らし続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)を構築し推進します。

[図表15] 後期高齢者 健診結果リスクの推移

項目	上尾市			県	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	
BMI	保健指導判定値	24.8%	24.4%	23.7%	23.8%
	低栄養(18.5未満)	7.7%	7.9%	8.3%	8.2%
リスク	血糖のみ	16.6%	17.5%	18.0%	19.9%
	血圧のみ	22.3%	22.2%	20.5%	18.0%
	脂質のみ	1.4%	1.2%	1.3%	1.4%
	血糖・血圧	33.4%	34.3%	34.3%	34.9%
	血糖・脂質	3.6%	3.3%	3.5%	4.2%
	血圧・脂質	3.1%	2.9%	2.7%	2.8%
	血糖・血圧・脂質	7.5%	7.5%	7.7%	8.3%

出典：KDBシステム帳票「地域の全体像の把握」

[図表16] 後期高齢者 健診質問票の回答結果

質問票	上尾市				県
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	
健康状態	あまりよくない・よくない	8.0%	7.3%	7.2%	8.6%
食習慣	1日3食きちんと食べる	95.7%	95.9%	95.6%	94.3%
口腔機能	半年前に比べて固いものが食べにくい	28.9%	28.4%	28.5%	27.3%
体重変化	6カ月で2~3Kg以上の体重減少	12.5%	11.9%	11.7%	10.8%
運動・転倒	この1年間に転んだ	15.7%	16.0%	15.4%	16.3%
社会参加	週に1回以上は外出	89.3%	90.0%	91.6%	90.8%

出典：KDBシステム帳票「後期質問票調査の経年比較」

課題

- ・後期高齢者のBMI18.5未満の割合が県平均と比べてやや高い(図表15)
- ・後期高齢者の質問票で「半年前に比べて固いものが食べにくい」と答えた方の割合が県平均に比べて若干高い(図表16)

対策

- (短期) フレイル予防の普及啓発、低栄養/口腔機能低下のリスクが高い方への個別相談を行う
- (中長期) 地域包括ケアシステム推進会議への参画や、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を継続する



保健事業の実施内容及び評価方法

1. 特定健康診査受診促進対策

- 受診勧奨通知
未受診者や40歳到達者へ勧奨通知を送付
- 国保ポイント事業
健診受診等でポイントを付与し、ポイントに応じた景品を贈呈

目的

特定健診の受診率向上

短期目標

- 各年度の受診率を2.5ポイント上げる
- 40・50歳代の受診率を対前年度比5ポイント上げる

中長期目標

- 令和11年度の受診率60%
- 40・50歳代の受診率30%

2. 特定保健指導利用率向上事業

- 利用勧奨通知
未利用者へ勧奨通知を送付
- ICTの活用
オンラインで初回面談や継続支援できるツールの活用

目的

メタボ該当者およびメタボ予備群該当者を減らす

短期目標

- 各年度の実施率を10ポイント上げる
- 各年度のメタボ予備群該当者の割合を対前年度比で1ポイント減らす

中長期目標

- 令和11年度の実施率60%
- メタボ予備群該当者の割合を対令和4年度比で5ポイント減らす

3. 糖尿病性腎症重症化予防対策

- 通知勧奨および電話勧奨
- 個別面談および継続支援

目的

糖尿病性腎症の重症化予防と、人工透析移行の防止

短期目標

- 保健指導への参加者を対前年度比3ポイント増やす
- HbA1C8.0%以上の割合を対前年度比で0.1ポイント減らす

中長期目標

- 保健指導への参加率30%
- HbA1C8.0%以上の割合を対令和4年度比で0.5ポイント減らす

4. 生活習慣病重症化予防対策

- 国保加入者への人間ドック検診料補助
- 国保/後期高齢者医療保険加入者へのがん検診等の自己負担無料化
- 健康活動に応じたポイント付与

目的

生活習慣病重症化の予防

短期目標

- 生活習慣病に関心を持つ人を増やす

中長期目標

- 健康づくりに積極的に取り組む人を増やす
- 健診で血圧、腎機能が保健指導判定値である割合を減らす

5. 医療費適正化

- 先発医薬品利用者へのジェネリック医薬品差額通知発送
- 重複・頻回受診者および重複・多剤服薬者への改善通知/電話

目的

医療費適正化の推進

短期目標

- ジェネリック医薬品利用率80%以上を維持
- 適正受診・適正服薬の推進

中長期目標

- ジェネリック医薬品利用率の増加
- 重複・頻回受診者および重複・多剤服薬者の減少

6. 地域包括ケア

- 地域包括ケアシステムの推進や高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施
- フレイル予防講座の実施
- 低栄養・口腔機能低下のリスクが高い方への栄養相談参加案内

目的

安心して暮らし続けられる為の体制(地域包括ケアシステム)の構築

短期目標

- フレイル予防の普及啓発とフレイル予防講座の推進

中長期目標

- 前期高齢者の低栄養、口腔フレイルリスクのある者の減少